



概要版

公園・緑地 リニューアル計画

2020



1

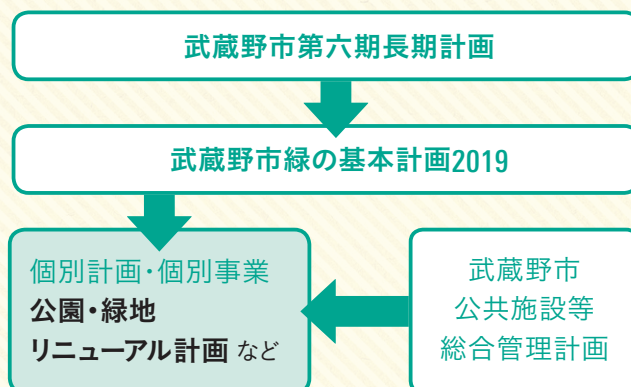
公園・緑地リニューアル計画とは

「公園・緑地リニューアル計画」は、「緑の基本計画」に定められた基本的な考え方に基づき、それぞれの公園緑地がもつ機能や特性を地域間で補完し合うことで、体系的で効率的な公園事業を展開するために定めたものです。

改定した「武蔵野市緑の基本計画2019」では、個別施策「公園緑地などの機能と維持管理の充実」において「公園・緑地リニューアル計画」が位置付けられています。

策定から約10年が経過し、この間の社会情勢や利用者ニーズの変化などに対応するとともに、「武

蔵野市緑の基本計画2019」で示している今後の公園緑地に関する考え方をもとに「公園・緑地リニューアル計画」の改定を行いました。



2

改定のポイント

「武蔵野市緑の基本計画2019」では、今ある資源（ストック）や地域の特性を有効に活用する「公園緑地のポテンシャルを活かす視点」と、地域との連携や広域的な連携などにより公園緑地を柔軟に運用

する「緑のマネジメントと多様な主体による新たな連携の視点」など、公園緑地のリニューアルに関連する考え方を示しています。それらを踏まえて計画の改定のポイントを次のように整理しました。

① 公園緑地のポテンシャルを活かす視点

- ◎ 公園緑地の機能の分担や連携を図り、特色ある機能を強化して魅力アップを図る
- ◎ 地域のニーズに対応して、既存の資源（ストック）の有効活用を図る
- ◎ 緑と水のネットワークを活かし、街歩きや散策の立ち寄り場として周辺施設との連携を図る

② 緑のマネジメントと多様な主体による新たな連携の視点

- ◎ 多様な主体や地域と連携した公園緑地の柔軟な利用を支援するしくみの整備を図る
- ◎ 都・近隣自治体などと広域的な連携を図ることで、防災・生物多様性・環境配慮などの公園緑地の多様な機能を強化するとともに、グリーンインフラ*の推進と都市環境の改善を図る

*グリーンインフラ：自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進める取り組み

3

基本的な考え方とリニューアルのメニュー

リニューアルを行うための基本的な考え方と、主なリニューアルの区分と内容を以下のように定義します。

基本的な考え方	リニューアルの 主な区分	リニューアルの主な内容
① 改良により基本 機能と質を保つ	修繕 (施設等の修繕)	通常の維持管理で対応しきれない施設の修繕、バリアフリー化、植栽の改良・間伐 など
② 機能の向上を 図り有効に活用	部分改修 (機能の改善)	都市環境の改善、防災機能の強化、新たな施設などの整備、緑景観の保全、広場の充実 など
③ 新たな魅力を 創出し利用を促進	全面改修 (機能の転換 ・新たな魅力創出)	現行の機能を改変し、市民ニーズや新たな試みを積極的に取り入れる

基本的な考え方による公園緑地のリニューアルのメニューは以下のように設定します。

なお、新規の公園緑地についても、これらのメニューを基本として整備を行います。

メニュー	主な具体的なメニュー
① 施設等の修繕	
01 施設の老朽化等への対応	① 長寿命化の視点による施設の修繕、更新 ② 施設の美観保持 ③ 施設の適正化
02 植栽の適正化	① 明るく風通しのいい緑の空間形成、自然樹形を踏まえた剪定
03 バリアフリーへの配慮	① バリアフリー・ユニバーサルデザイン化
04 安全・安心の向上	① 園内の見通しなどの防犯効果の向上 ② 飛び出し防止などの安全対策
② 機能の改善	
05 防災機能の向上	① 「地域防災計画」に沿った施設整備、防災機能の向上・活用
06 都市環境の改善	① 生物多様性への配慮、自然・農とのふれあい ② 資源の利活用
07 レクリエーション機能の改善	① レクリエーション施設・空間の創出、遊びの活用 ② 利用の促進、利用頻度の向上
08 景観形成	① 美しく豊かな緑景観の形成、まちなみとの調和 ② 武蔵野の緑景観を保全
③ 機能の転換・新たな魅力創出	
09 公園の特色の活用	① 機能の特化・連携、既存資源・特色の活用
10 活用方法の検討	① 周辺との連携 ② 街歩きなどでの活用、多様な主体・広域的な活用



園内の見通しを良くした公園(はなもも公園)



プレーパークの拠点(境冒險遊び場公園)



周辺との連携を図った公園(本田北公園)

本市では小規模な公園緑地が近接して立地している特徴があり、リニューアルを公園単体で考えるのではなく、地域全体のバランスの中で考えていく必要があります。この公園緑地のまとまりの単位を「公園区」と定義し、リニューアルの対象や目的・

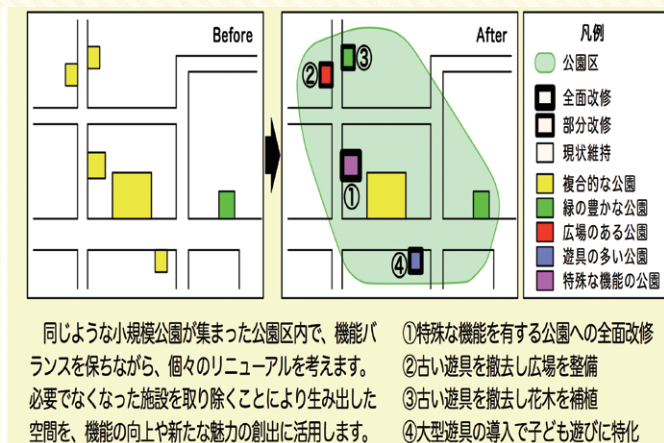
機能に応じ複合的に検討していきます。公園区は、リニューアル対象の公園緑地の性格を踏まえ、まちづくりにおける基本的な単位（①コミュニティ②3駅圏③全市）に基づき設定します。

①コミュニティレベル

リニューアルを検討する最も基本的な公園区です。主にエリア内の機能の分担・特化により、公園緑地の有効活用を進めていくために用います。

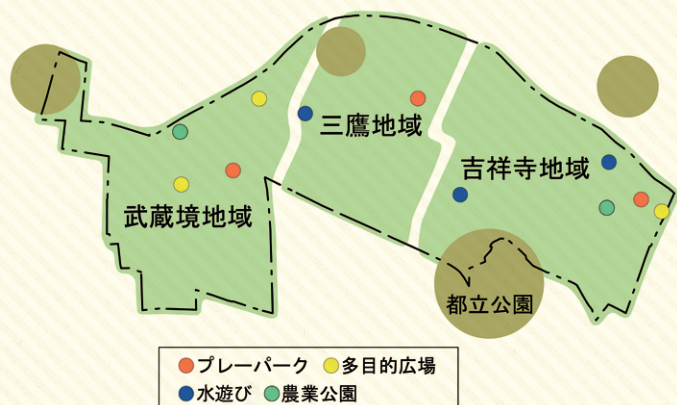


コミュニティレベルの公園区によるリニューアルのイメージ



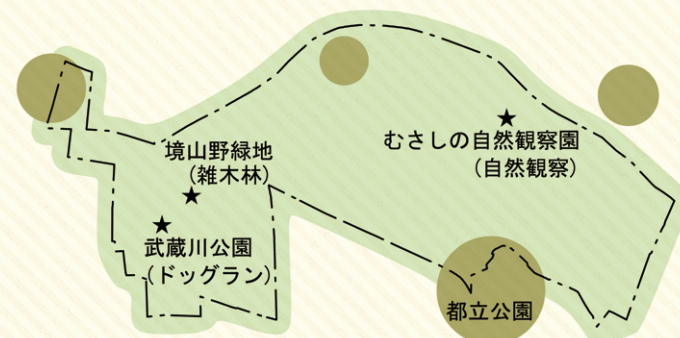
②3駅圏レベル

3駅圏を単位として、概ね1km（徒歩15分）程度の圏域を想定される広域的な機能をもつ公園緑地を対象に、リニューアルを検討する公園区です。



③全市レベル

市域全体を1単位として、公園機能を検討する公園区です。一般的な公園緑地には見られない特別な機能や施設を配し、「特色ある公園」の配置を検討します。



特色の分野	既存の特色ある公園の主な施設
自然	樹林・雑木林 / 原っぱ / ビオトープ
遊び	水遊び / 大規模遊具 / 芝生広場 / ボール遊び / プレーパーク*
体験	自然観察(観察園・観察会) / 農業体験 / 花壇
その他	ドッグラン / 防災広場

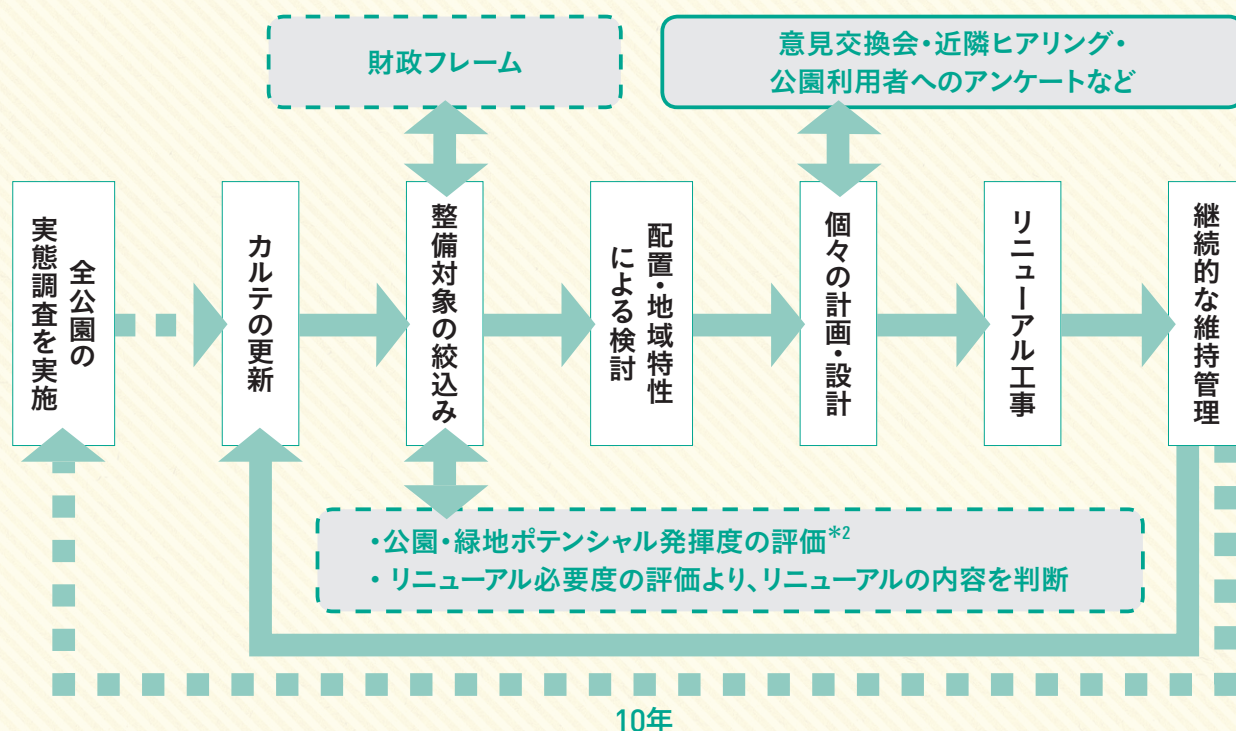
*プレーパーク：木登り・どろんこ・水遊びなど、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことのできる公園

5

リニューアル計画の進め方

公園緑地のリニューアルは、実態調査や「公園・緑地カルテ」^{*1}の運用手法及び、本計画で示している基本的な考え方や公園区の方、具体的な整備メニューに基づき、以下の流れのように進めていきます。

「公園・緑地カルテ」をもとにリニューアル必要度や公園緑地の特性を評価した公園・緑地ポテンシャル発揮度を把握して「整備対象の絞込み」に反映し、市民の意見を考慮してリニューアルの内容を判断する進め方とします。



^{*1}：公園緑地の実態調査をもとに、基礎データや評価を公園緑地ごとにカルテとして整理しています。

^{*2}：緑の基本計画における緑の将来像に寄与する、①緑と水のネットワークを構成している②良好な樹林を有している③日常的に利用が多い、または管理団体があるの3つを主な公園緑地の持つポテンシャルとして、実態調査において、ポテンシャルを既に発揮しているか、または、発揮すべきポテンシャルを持っているか評価をしています。

6

リニューアル計画における事業費

公園緑地のリニューアルに関する事業費は、部分的な修繕・改修を行う修繕費と全面改修を行う更新費です。

本計画及び「公園・緑地カルテ」を踏まえて今後30年間に掛かる事業費として試算しました。

併せてリニューアル以外の公園緑地に関する事業費について、「武蔵野市緑の基本計画2019」の計画の目標に基づき、既存の借地公園を買い取って恒久化を図るとともに、公園空白地域に公園緑地を整備する場合も試算しました。

事業費	30年間	年平均
リニューアル事業費	約44億円	約1.46億円
借地公園買取と公園緑地の新規整備	約265億円	約8.8億円

公園・緑地リニューアル計画2020【概要版】

令和2年3月発行

発行……武蔵野市 〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28

編集……武蔵野市環境部緑のまち推進課 TEL……0422-60-1864